



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〈第七七号〉

雨水

二月十九日

御船祭

毎年旧暦一月十八日にある御船祭は、志摩地方の漁師や海女から信仰が篤い「青峯さん」のお祭り。「青峯さん」は、鳥羽市松尾町の青峯山（標高約三三六メートル）の頂に建つ古刹、正福寺のことです。

このお祭は、なにか出し物があるわけではなく、本堂で海上安全や大漁祈願の祈祷を受け、御札を受けるのが参拝者のお目当て。当日、本堂の内陣には読経の声が響き渡り、人々が熱心に手を合わせていました。

ふだんは静かな山寺ですが、この日ばかりは山門から参道にかけて大漁旗が飾られ、露天商が並び立ち、境内は賑やかです。色取り取りの大漁旗は、フリルで縁取ったものや蛍光色、3畳分はあろうかという大きなものがはためいています。こういう派手さは、板子一枚下は地獄という海の男たちのげん担ぎなのでしょう。爆竹も鳴っています。

それにしても麓から歩いて登ってくる人が多いのには驚きました。確かに山道は狭く、この日は松尾の鳥羽側から入り、磯部側へ下りるとい一方通行になるほど。それでも運転すると冷や汗もののかねかね道なのです。お年寄りも杖をひいて歩いていますし、地元、磯部の中学生も登ってきていて、まだまだ根強く信仰されているお寺だと思いました。

去年は二月十日過ぎでしたが、二月とは思えないほどのぽかぽか陽気に当たりました。暖かさというのは、春の日よりも冬の日の方が実感できるものだとその陽光をありがたく思った覚えがあります。

今年少し遅く三月三日、おひなさまの日と同じ日に御船祭は行われます。

文 千種清美

